

**株式会社クエスト
2009年3月期第2四半期
決算説明会**

2008年11月10日

株式会社クエスト

(ジャスダック 2332)

代表取締役社長 佐藤 和朗

本日のポイント

1. 第2四半期累計売上高は、創業以来過去最高の36億97百万円(前年比+6.2%)、営業利益は1億27百万円(前年比-27.7%)、経常利益は1億38百万円(前年比-25.2%)、純利益は96百万円(前年比-2.0%)となった
2. 上期計画には売上高、利益ともに未達。世界的な金融不安、顧客業績の影響によるコストダウン要請と、昨年8月に子会社化したドラフト・インの業績が利益を圧迫した
3. 2008年中期計画のテーマである「サービスモデルの実践」「インフラアウトソーシングの確立」「アカウントマネジメント機能の強化」等で着実な成果が得られた
4. 引続きクエストの事業領域を取り巻く経済環境、顧客動向に注視し、期初計画の達成に向けて、リスクマネジメントを強化するとともに、次の成長に向けた施策を強化していく

- I. 2009年3月期第2四半期決算概要
- II. 2008年度中期計画の進捗状況
- III. 株主還元方針

株式会社クエストについて

- 上場市場 ジャスダック証券取引所（証券コード:2332）
- 設立 1965年
- 代表者 代表取締役社長 佐藤 和朗
- 資本金 4億9,103万円
- 事業内容 ソフトウェア開発、システム運用管理、
受託計算、データエントリー

- 従業員 738名(2008年9月末 連結)
- 決算期 3月末
- 売上高 72億1,200万円(2008年3月期)
- 経常利益 4億7,600万円(")
- 所在地 東京都港区芝浦1-12-3 ダヴィンチ芝浦
- 関連会社 株式会社データ処理センター、株式会社オプティス
Optis Information Services India Pvt. Ltd.、
Navis Nihongo Training Centre Pvt. Ltd.
慧德科技(大連)有限公司(QUEST (DALIAN) CO.,LTD.)
株式会社ドラフト・イン

- 認証資格 CMMI(レベル3)、プライバシーマーク、
ISO/IEC27001:2005

I . 2009年3月期第2四半期 決算概要

連結第2四半期決算概況

◆連結損益計算表 前期・期初計画との比較

連結売上高は、前年同期を6.2%上回る
売上高2億円増、経常利益25.2%減

(単位:百万円)

	2009/3 第2四半期 実績	対前期比		対期初計画比	
		2008/3 第2四半期	前期比 増減率	2009/3 第2四半期 期初計画	計画比 増減率
売上高	3,697	3,482	+6.2%	3,833	-3.5%
売上総利益	580	611	-5.1%	667	-13.0%
粗利率(%)	15.7%	17.6%	-1.9P	17.4%	-1.7P
営業利益	127	176	-27.7%	162	-21.2%
営業利益率(%)	3.5%	5.1%	-1.6P	4.2%	-0.8P
経常利益	138	185	-25.2%	164	-15.4%
経常利益率(%)	3.8%	5.3%	-1.6P	4.3%	-0.5P
四半期純利益	96	98	-2.0%	91	+6.4%
EPS(円)	17.77	23.48	-24.3%	16.82	+5.6%

業績ハイライト

連結売上高は、前年同期を6.2%上回る
売上高2億円増、経常利益25.2%減

- **売上高 前年度比 6.2%増**
 - 金融分野での請負案件受注増、協業効果による取引拡大
 - ソニーグループのインフラ運用・保守業務・請負堅調
 - 半導体分野での顧客からのコストダウン要請で取引減少
- **粗利率 前年度比1.9ポイント減**
 - 昨年8月に子会社化したドラフト・イン社の石巻営業所立ち上げ費用▲20百万円
- **営業利益 前年度比 27.7%減 営業利益率 1.6ポイント減**
 - 受注案件あたりの粗利益の減少による
 - 人員確保に伴う人件費増
- **経常利益 前年度比 25.2%減**
 - 営業利益の減少に対して、受取利息の増加が寄与
- **当期利益 前年度比 2.0%減**
 - 通勤費の計上を現金基準から発生基準に変更したことによる特別利益を計上したため前年度並みの利益を確保

事業別連結売上高

◆前期との比較

全事業において前年度売上高を上回る
前年度比 ソフトウェア開発7.3%増、受託計算/データエントリー39.2%増

(単位:百万円)

	2009/3第2四半期 実績		対前年同期比		
	2009/3 第2四半期	構成比	2008/3 第2四半期	構成比	前年比 増減率
ソフトウェア開発	1,916	51.8%	1,786	51.3%	+7.3%
システム運用管理	1,522	41.2%	1,508	43.3%	+0.9%
受託計算/データエントリー	248	6.7%	178	5.1%	+39.2%
商品販売	10	0.3%	9	0.3%	+13.5%
合計	3,697	100.0%	3,482	100.0%	+6.2%

連結売上高のポイント

ソフトウェア 開発

前年度比+7.3%

金融分野での取引拡大、アライアンス各企業との提携効果

- ・金融分野では生保・損保顧客からの開発請負型ビジネスが増加
- ・住商情報システム、SBIグループとの提携効果
- ・今期は企業のIT投資が冷え込み、一括大型案件の受注が減少
- ・半導体分野では顧客から投資削減、コストダウン要請

システム 運用管理

前年度比+0.9%

既存顧客の深耕と付加価値・提案型サービスの拡大で売上高を牽引

- ・付加価値型・提案型サービス(セレクトティブアウトソーシング、インフラ構築サービス、リモート運用サービス)が顧客の高い評価を受け、新規案件を獲得
- ・通信分野の引合堅調、売上は前年同期比18%増
- ・住商情報システム、SBIグループとの提携効果倍増

連結貸借対照表

◆前期末時点との比較

配当金の支払いによる現預金及び利益剰余金の減少

(単位:百万円)

	2009/3 第2四半期末	2008/3期末対比		コメント
		2008/3 期末	前年比 増減額	
資産合計	4,847	5,005	-158	
流動資産合計	3,562	3,769	-207	現預金の減少
固定資産合計	1,284	1,236	48	投資有価証券の増加
負債及び純資産合計	4,847	5,005	-158	
負債合計	1,026	1,084	-58	役員退職慰労引当金、 未払法人税の減少
純資産合計	3,820	3,921	-101	配当金支払いによる減少

連結キャッシュ・フロー

◆第2四半期の特徴

営業活動によるCFの増加	29百万円
投資活動によるCFの減少	387百万円(有価証券、投資有価証券の取得)
財務活動によるCFの減少	213百万円(配当金の支払、自己株取得)

(単位:百万円)

	2009/3 第2四半期	対前年同期比		コメント
		2008/3	前年比 増減額	
営業活動によるCF	29	354	-325	税金等調整前純利益 +189 法人税等の支払 -114
投資活動によるCF	-387	-693	+306	有価証券取得による支出 -100 投資有価証券取得による支出 -299
財務活動によるCF	-213	-125	-88	自己株取得による支出 -32 配当金の支払 -164
現金及び現金同等物 の四半期末残高	1,267	1,713	-446	

連結子会社を含む内訳

◆前期との比較

クエスト単体は増収減益、データ処理センターは経常利益率3ポイント増、
 オプティスは減益、ドラフト・インは新規営業所立ち上げ費用よる赤字

(単位:百万円)

	クエスト単体		データ処理センター データ処理子会社		オプティス インド開発子会社		ドラフト・イン データ入力子会社	
	2009/3 第2四半期	2008/3 第2四半期	2009/3 第2四半期	2008/3 第2四半期	2009/3 第2四半期	2008/3 第2四半期	2009/3 第2四半期	2008/3 第2四半期
売上高	3,446	3,380	81	81	100	108	142	—
営業利益	137	167	18	12	4	14	-19	—
営業利益率(%)	4.0%	4.9%	16.8%	15.9%	4.2%	13.1%	-13.9%	—
経常利益	181	209	15	13	3	13	-20	—
経常利益率(%)	5.3%	6.2%	19.6%	16.5%	3.0%	12.7%	-14.2%	—

2009年3月期 通期連結業績計画

◆連結損益計画

売上高は、三期連続の創業以来過去最高を更新する計画
 経常利益・純利益共に、計画達成に取り組む

(単位:百万円)

	2009/3 計画 (期初計画通り)	対前期比	
		2008/3実績	前期比 増減率
売上高	8,110	7,212	+12.4%
営業利益	525	458	+14.5%
営業利益率(%)	6.5%	6.4%	0.1P
経常利益	520	476	+9.1%
経常利益率(%)	6.4%	6.6%	-0.2P
当期純利益	290	260	+11.1%
EPS(円)	53.04	47.73	+11.1%

2009年3月期 期初計画達成のポイント

売上高 81.1億円 (+12.4%)

- ・アカウントマネジメントを徹底、既存顧客へ積極提案
- ・中国・インド日系企業向けITサービス展開
- ・サービス差異化に向けた事業提携・M&Aの積極展開
- ・金融系請負開発事業モデルの拡大
- ・半導体工場生産管理サービス、通信管理モニタリングサービスの横展開
- ・インフラ上流設計サービス “Quest Rabbit”ソリューションの拡販
- ・技術者の育成と強化

営業利益 5.2億円 (+14.5%)

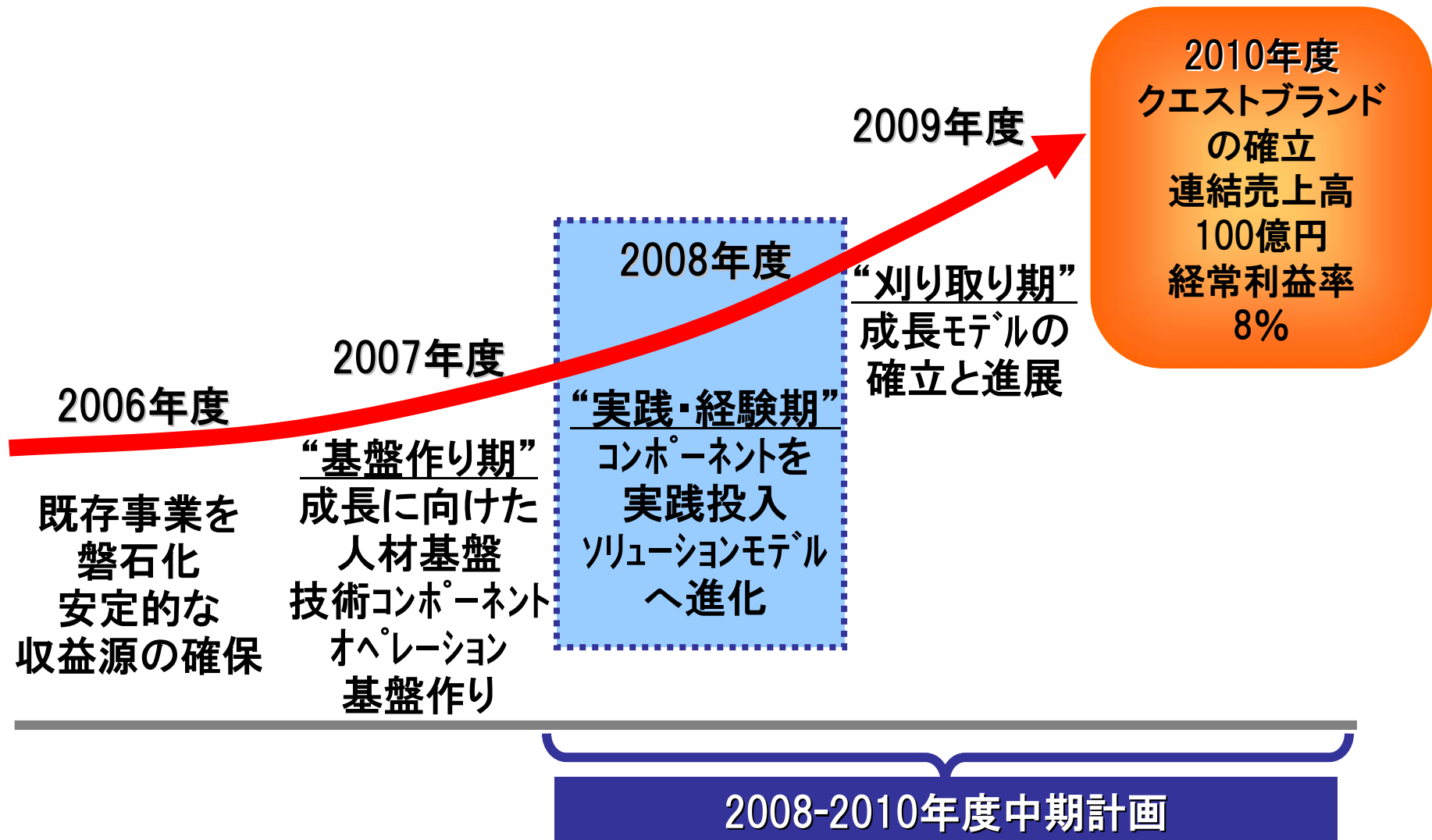
経常利益 5.2億円 (+ 9.1%)

- ・金融分野、インフラサービス分野での請負型ビジネスの拡大
- ・プロジェクト管理力の更なる向上を追求。「見積もり技術」の蓄積を進める
- ・リスクマネジメントの強化に取り組み、収益性を高める

Ⅱ. 2008年度中期計画の進捗状況

2008年度の位置づけ

2008年度は「サービスモデルの実践期」



2008年度主要施策における進捗

主要施策

成果

アカウントマネジメントの強化

- ・住商情報システム・SBIグループとの協業強化
- ・クエストの独自サービスモデルの積極提案
- ・得意の半導体分野では東芝プラチナパートナー5年連続認定

サービスモデルソリューションモデルの強化

- ・ウェブ・アプリケーションセキュリティ分野への事業展開
5/14韓国ペンタセキュリティシステム社と国内販売代理店契約締結
- ・次世代ウェブ構築サービス事業展開
10/15米国Hot Grinds社とセマンティックウェブ・プラットフォームの国内販売総代理店契約締結

サービスモデルの横展開

- ・半導体工場生産管理サービスの前工程支援から新たに後工程支援及びグローバル化へ展開
- ・通信監視モニタリングサービスは、売上高対前年同期比18%増

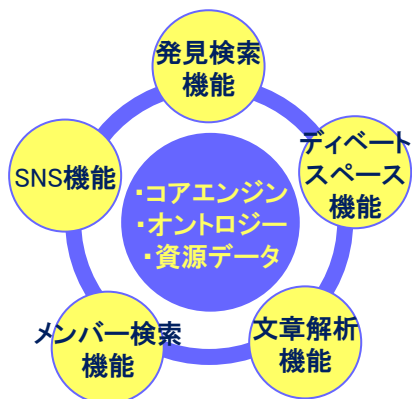
成長に向けた人材基盤作り

- ・上期の技術獲得・人材育成に84百万円を投資(売上高の2.3%)
- ・来年4月新卒入社24名内定、中途採用は50名確保に取り組む

次世代Webサービス セマンティックウェブ構築サービス事業

HotGrinds社(米国)とセマンティックウェブ構築支援プラットフォーム
日本国内市場における販売総代理店契約の締結を10月15日発表

HotGrindsセマンティックウェブプラットフォーム

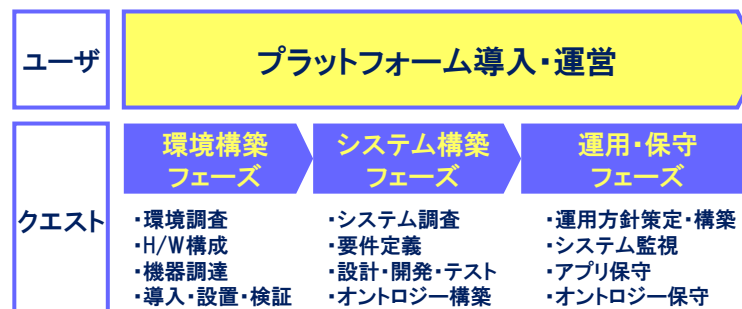


- 用語間の関連を自動解析
- 関連カテゴリ自動作成
- ワンクリックの発見検索
- 解析結果をグラフ表示

+

クエストの構築サービスメニュー

■ハードウェア環境の構築～システム構築・運用・保守に至るまで一貫した構築サービスメニューを提供

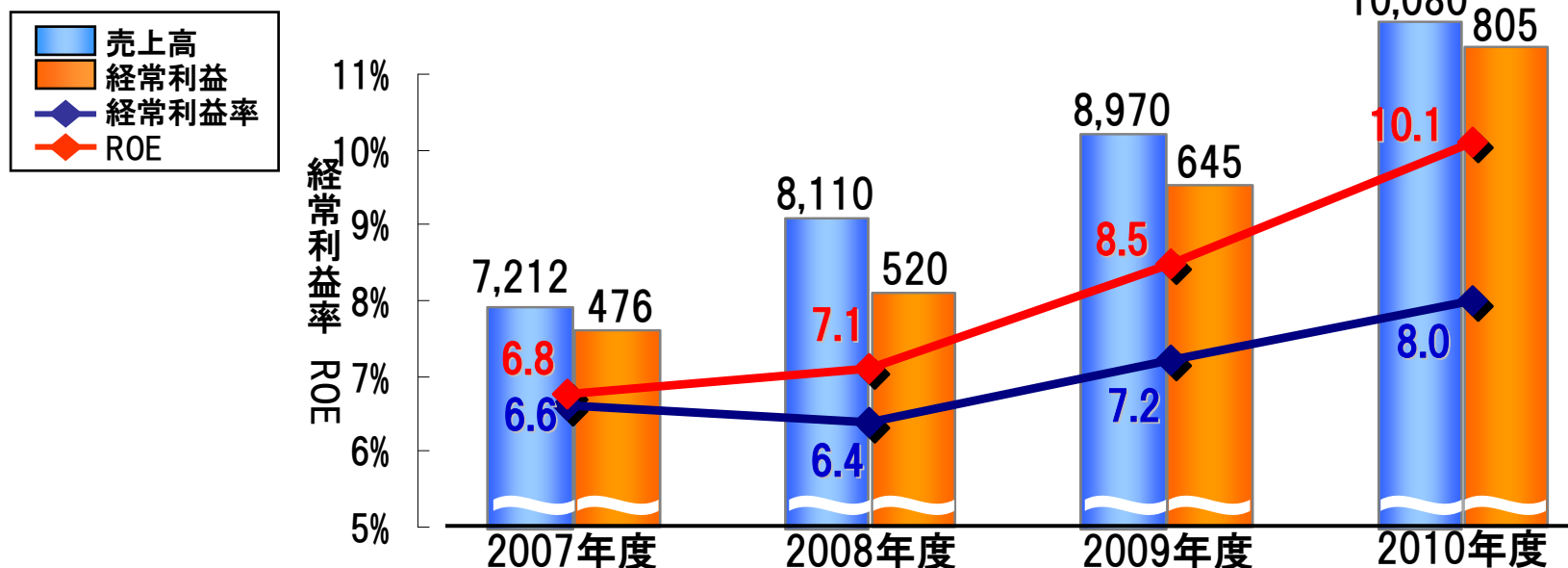


10月より、
マーケティング分析・リコメンデーションツールとしてウェブマーケティングサイト
(クチコミサイト、SNSサイト等)・企業商品サイトへ
コミュニティツールとして各種スポーツ団体サイトへアプローチを開始

初年度売上目標 2億円

2008年度中期計画 目標経営指標

経営指標		2007年度 (実績)	2008年度 (計画)	2009年度 (計画)	2010年度 (計画)
成長性 指標	売上高(百万円)	7,212	8,110	8,970	10,080
	経常利益(百万円)	476	520	645	805
	売上高増加率	4.6%	12.4%	10.6%	12.4%
	経常利益増加率	0.3%	9.1%	24.0%	24.8%
収益性 指標	経常利益率(%)	6.6%	6.4%	7.2%	8.0%
	ROE	6.8	7.1	8.5	10.1



■ 成長目標 : 売上高101億円(平均成長率12%)、経常利益8.1億円(平均成長率19%)
■ 収益目標 : 経常利益率1.4ポイントアップ、ROE3.3ポイントアップ

Ⅲ. 株主還元方針

株主還元方針

～株主重視の経営の実現に向けて～

【株主還元方針】

株主のための企業という経営スタンスを従来より堅持するとともに、株主の皆様に対する安定的な利益還元の実施を経営の重要課題を位置づけ、業績の伸張に合わせて、将来の技術獲得や人材確保に向けた十分な内部留保を確保するとともに積極的な利益配分を行ってまいります

【2008年度の株主還元施策】

- ・ 期末剰余金配当は
普通配当金1株当たり35円を予定
- ・ 平成20年1月より自己株式の取得を実施中

【今後の剰余金配当金基本方針】

- ・ **1株当たり35円**の安定配当を継続
- ・ DOE*(純資産配当率)を指標に採用、早期に連結**DOE5%**を目指す
 - '07年度DOE4.2%
 - '06年度DOE3.3%

自己株式の市場買付について

【自己株式取得の内容】

- ・ 決議日 平成20年1月23日取締役会
- ・ 取得する株式の総数 250,000株(上限)
- ・ 株式の取得価額の総額 200,000,000円(上限)
- ・ 取得する期間 平成20年1月24日から平成21年1月23日まで

平成20年9月30日までの買付状況と買付総額

買付株数 57,600株

買付総額 47,438,800円



本日はありがとうございました

将来の見通しに関する注意事項

この資料に記載されている株式会社クエストの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

そのため、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を決定することは避けるようお願い致します。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご理解下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれます。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。